平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名　SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9478　URL　http://www.sehi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 速水　浩二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　経営企画部部長　(氏名) 松村　真一　TEL 03-5362-3700

四半期報告書提出予定日　平成24年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,624	△1.9	23	―	7	―	7	―
24年3月期第1四半期	1,655	△10.8	△3	―	△31	―	△21	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△19百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△141百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	47.37	47.27
24年3月期第1四半期	△136.87	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,085	4,100	35.1
24年3月期	10,174	4,151	35.1

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　3,536百万円　24年3月期　3,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	200.00	200.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	200.00	200.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	1.5	90	106.0	50	―	20	―	123.39
通期	7,500	2.2	200	△16.8	100	△16.6	50	83.7	308.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	186,368 株	24年3月期	186,368 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	27,677 株	24年3月期	27,677 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	158,691 株	24年3月期1Q	158,691 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P. ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P. ２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… P. ２
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… P. ３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… P. ３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… P. ３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… P. ３
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… P. ３
４．四半期連結財務諸表 …… P. ４
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. ４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. ６
（３）継続企業の前提に関する注記 …… P. ８
（４）セグメント情報 …… P. ８
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. ９
（６）重要な後発事象 …… P. ９

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要などから国内景気は緩やかな回復の兆しが見られるものの、欧州債務危機問題や中国経済の成長力鈍化などの影響を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第１四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高1,624百万円（前年同期比1.9％減）、営業利益23百万円（前年同期は営業損失３百万円）、経常利益７百万円（前年同期は経常損失31百万円）、四半期純利益７百万円（前年同期は四半期純損失21百万円）となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、福祉系資格書が市場に認知され売上を伸ばし、また、オンライン経由での書籍販売も好調だったものの、新刊の単価が総じて低かったことや一般書籍売上がやや少なかったこと、イベント開催の延期などにより、売上高は584百万円（前年同期比2.4％減）、セグメント利益（営業利益）65百万円（前年同期比0.4％増）とほぼ前年同期並となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、前連結会計年度より実施している営業活動の強化や効率化によるコスト削減の成果により、売上高は201百万円（前年同期比7.0％増）、セグメント利益（営業利益）は32百万円（前年同期比207.1倍）と大幅増収増益となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォン及びソーシャルゲーム関連の開発受注が引き続き好調に推移したものの、スマートフォンコンテンツ関連投資による積極的な先行費用の影響などにより、売上高257百万円（前年同期比10.9％減）、セグメント利益（営業利益）17百万円（前年同期比47.6％減）となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、新小岩店の被災による一時休業や再開店費用などの影響により売上高は364百万円（前年同期比3.3％減）となりました。加えて期中にボディケアサロン２店舗の新店開店費用などによりセグメント損失（営業損失）21百万円（前年同期比損失11百万円増）となりました。

教育・人材事業におきましては、比較的利益率の高い法人向けサーバ売上やクラウドサービス売上の積上げなどにより、売上高209百万円（前年同期比6.3％増）、セグメント損失（営業損失）７百万円（前年同期比損失17百万円減）と引続き業績回復基調となりました。

その他の事業（注）におきましては、売上高６百万円（前年同期比32.3％増）、セグメント損失（営業損失）３百万円（前年同期比損失０百万円減）となりました。

（注）当第１四半期累計期間及び前第１四半期累計期間における「その他の事業」には、有価証券投資事業の業績を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金177百万円増加並びに受取手形及び売掛金341百万円減少を主因に、前連結会計年度末比88百万円減の10,085百万円となりました。負債については、有利子負債46百万円減少を主因に、前連結会計年度末比37百万円減の5,985百万円となりました。純資産については、利益剰余金24百万円減少及び少数株主持分15百万円減少を主因に、前連結会計年度末比51百万円減の4,100百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想は、平成24年５月18日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,888	3,065
受取手形及び売掛金	1,722	1,381
有価証券	20	20
営業投資有価証券	444	425
商品及び製品	986	1,022
仕掛品	82	117
原材料及び貯蔵品	15	16
繰延税金資産	94	72
その他	132	148
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,386	6,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,792	1,824
減価償却累計額	△764	△786
建物及び構築物（純額）	1,027	1,037
土地	1,089	1,089
その他	976	987
減価償却累計額	△890	△886
その他（純額）	86	101
有形固定資産合計	2,204	2,229
無形固定資産		
のれん	424	416
その他	74	68
無形固定資産合計	499	484
投資その他の資産		
投資有価証券	221	224
敷金及び保証金	509	513
繰延税金資産	190	201
その他	169	169
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,083	1,102
固定資産合計	3,787	3,816
資産合計	10,174	10,085

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	438	404
1年内償還予定の社債	744	744
短期借入金	849	800
未払法人税等	25	13
賞与引当金	48	25
返品調整引当金	172	146
その他	444	540
流動負債合計	2,721	2,675
固定負債		
社債	2,142	2,057
長期借入金	829	916
退職給付引当金	208	211
役員退職慰労引当金	73	73
資産除去債務	30	31
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	7	11
固定負債合計	3,300	3,309
負債合計	6,022	5,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,406	1,406
資本剰余金	1,902	1,902
利益剰余金	900	875
自己株式	△642	△642
株主資本合計	3,566	3,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	△21
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	5	△5
新株予約権	7	7
少数株主持分	572	556
純資産合計	4,151	4,100
負債純資産合計	10,174	10,085

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	1,655	1,624
売上原価	1,126	1,092
売上総利益	529	531
返品調整引当金戻入額	11	25
差引売上総利益	540	557
販売費及び一般管理費	543	534
営業利益又は営業損失（△）	△3	23
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	7	－
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	0	1
その他	2	3
営業外収益合計	12	5
営業外費用		
支払利息	17	13
社債発行費	11	－
支払保証料	4	5
その他	8	2
営業外費用合計	41	21
経常利益又は経常損失（△）	△31	7
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険差益	－	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△32	15
法人税、住民税及び事業税	2	6
法人税等調整額	6	17
法人税等合計	8	24
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△41	△8
少数株主損失（△）	△19	△15
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△21	7

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△41	△8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	△11
その他の包括利益合計	△100	△11
四半期包括利益	△141	△19
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△122	△3
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△15

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	出版	コーポレートサービス	ソフトウェア・ネットワーク	インターネットカフェ	教育・人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	599	188	289	376	196	1,650	4	1,655	―	1,655
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7	0	26	―	3	36	―	36	△36	―
計	606	188	315	376	199	1,687	4	1,692	△36	1,655
セグメント利益又はセグメント損失(△)	65	0	33	△9	△24	65	△3	61	△65	△3

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失の調整額△65百万円には、セグメント間の内部取引消去10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△75百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	出版	コーポレートサービス	ソフトウェア・ネットワーク	インターネットカフェ	教育・人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	584	201	257	364	209	1,617	6	1,624	—	1,624
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	8	—	26	—	3	38	—	38	△38	—
計	593	201	284	364	212	1,656	6	1,662	△38	1,624
セグメント利益又はセグメント損失(△)	65	32	17	△21	△７	87	△３	84	△61	23

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失の調整額△61百万円には、セグメント間の内部取引消去11百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△72百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第１四半期連結累計期間の各セグメント利益に及ぼす影響額は軽微であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。